



第 8 地点 空撮



第 9・10 地点 遠景空撮



第9地点 空撮



第9地点 近景 (手前：SK145, 左奥：SK140)



第10地点 空撮



第10地点 中世墓 (ST012)



第 11 地点 近景



第 12 地点 空撮



第 13 地点 空撮



大友親著墓

序 文

九州東部に位置する大分県大分市は、豊後水道に面しており、古来より政治や経済の拠点となった場所で、縄文時代の横尾貝塚、中世大友城下町跡、近世府内城・城下町跡など数多くの遺跡からも理解されます。

本書は、平成16年度から平成19年度に実施された県経営体育成基盤整備事業(丹川地区)に伴う丹生川坂ノ市条里跡と丹生遺跡群の発掘調査報告書であります。丹生・丹川地区は大分市東部を北流する丹生川の中・上流域にあたり、過去の発掘調査では前期旧石器時代論争の的にもなった地域でもあります。今回の調査では、縄文時代から近世に至るまでの遺構や遺物などが発見されました。特に古代と中世の時代で、まとまった集落跡が確認できたことは、「豊後国風土記」に記された丹生郷や中世の丹生庄を解明していく上で、重要な資料となりました。調査成果が地域の教育、研究、文化財愛護の一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、今回の発掘調査にご理解、ご協力を頂いた大分県中部振興局、大分市耕地林業課、そして地元関係者の皆様をはじめとする関係各位に厚くお礼を申し上げます。

平成21年3月

大分市教育委員会

教育長 足 立 一 馬

例 言

1. 本書は大分市教育委員会が平成 16 年度～平成 19 年度に実施した丹生川坂ノ市条里跡（第 1～6、8～11、13 地点）、丹生遺跡群（第 7、12 地点）の発掘調査報告書である。
2. 調査は県経営体育成基盤整備事業（丹川地区）に伴い、大分県中部地方振興局の委託業務として、大分市が受託し、大分市教育委員会が調査主体となり実施した。
3. 調査にあたっては、大分県中部地方振興局農林基盤部、大分市耕地林業課、丹川地区圃場整備組合長 佐々木英三氏及び丹生・丹川地区住民の協力を得た。
4. 調査現場での実測、写真撮影等は第 1 章の調査組織の調査員が主体で行った。
5. 本書に掲載した遺物実測図等は、前項の調査員及び整理作業員が主体で行った。
6. 空中写真撮影は株式会社九州航空、株式会社写測エンジニアリングに委託した。
7. 遺物写真撮影は㈱フォトワーク大分に委託した。
8. 別府大学文化財研究所に荘園村落遺跡調査を委託した。
9. 出土遺物、図面、写真等は大分市教育委員会で保管している。
10. 本書の執筆は飯沼賢司（別府大学教授）、中山昭則（同大学教授）、五十川雄也、永松正大、山本哲也、山下朋紀が行い、編集は五十川・山本が行った。
11. 第 11～13 地点の発掘調査（19 年度）は、労務管理などを九州総合文化財研究所に委託し、実施した。
12. 出土遺物については、第 9 地点出土遺物の吉備系土師器椀・土師質鍋・瓦器などを岡山大学埋蔵文化財調査研究センター教授山本悦世氏に御教示いただき、岡山市鹿田遺跡出土品の実見にあたり、御配慮いただいた。また、第 9 地点出土遺物の高台付瓦器皿などを白杵市教育委員会神田高士氏に御教示いただき、白杵市白杵石仏群出土品の遺物実見にあたり、御配慮いただいた。
13. 出土遺物・記録資料は、大分市文化財資料室に収蔵・保管している。
14. 裏表紙の署名・花押は、大友親著巻数請取状（杵原八幡宮文書、年不詳十二月十八日、由原宮師御房宛）から引用した。
15. 各章の執筆者は、目次に記載している。

凡 例

1. 経営体育成基盤整備事業（丹川地区）に伴う発掘調査地点は全 13 箇所である。今回の開発に伴う発掘調査地点は第 1～13 地点と表記している。また第 7・12 地点は丹生遺跡群に、残りのすべての地点は丹生川坂ノ市条里跡の周知遺跡に属する。出土遺物などの注記は第 1～13 地点を通して、略記号として「NSJ(丹生川坂ノ市条里跡の略)」を用い、例えば第 1 地点は NSJ-1 としている。第 7・12 地点の丹生遺跡群の遺物注記も NSJ で統一している。
2. 本文中に使用した遺構略記号は以下のように解釈される。
SK: 土坑 SP: 柱穴及びピット SD: 溝 SE: 井戸 SB: 掘立柱建物 SA: 柱穴列及び柵 SX: 性格不明遺構 SH: 竪穴建物 SF: 道路 ST: 墓 このほか、包含層や整地層という言葉を用いている。
3. 本書で用いた方位はすべて座標北である。
4. 遺構実測に用いたグリッドは世界測地形を基準にしたものである。
5. 遺物実測図の掲載番号は R 番（遺物番号）であり、一部には S 番—R 番のものもある。
6. 柱穴内のトーン部は柱痕を示す。

目 次

第1章 はじめに (五十川雄也)	1
第1節 調査の経緯	1
(1) 調査に至る経過	1
(2) 調査の経過	1
(3) 調査の体制	1
第2節 遺跡の立地と環境	4
(1) 地理的環境	4
(2) 歴史的環境	4
第2章 第1地点の調査 (五十川雄也)	11
第1節 調査の内容	12
第2節 遺構と遺物	12
(1) 概要	12
(2) 弥生時代	12
第3節 小結	15
第3章 第2地点の調査 (五十川雄也)	17
第1節 調査の内容	18
第2節 遺構と遺物	18
(1) 概要	18
(2) 弥生時代	18
(3) 古代以前	19
第3節 小結	20
第4章 第3地点の調査 (五十川雄也)	21
第1節 調査の内容	21
第2節 遺構と遺物	23
(1) 概要	23
(2) 縄文時代	23
(3) 中世	25
第3節 小結	32
第5章 第4地点の調査 (五十川雄也)	33
第1節 調査の内容	33
第2節 遺構と遺物	33
(1) 概要	33
(2) 古墳時代	39
(3) 古代 (奈良・平安時代)	42
(4) 中世 (室町時代)	90
(5) 近世	146
第3節 小結	153
第6章 第5地点の調査 (五十川雄也)	155
第1節 調査の内容	155
第2節 遺構と遺物	155
(1) 概要	155
(2) 中世	155
第3節 小結	157
第7章 第6地点の調査 (山本哲也・五十川雄也)	159
第1節 調査の内容	159
第2節 遺構と遺物	166
(1) 中世	166
(2) 第6地点周辺の確認調査	208
第3節 小結	211
第8章 第7地点の調査 (山本哲也)	213
第1節 調査の内容	213
第2節 遺構と遺物	214
(1) 古代	214
第3節 小結	227

第9章 第8地点の調査(五十川雄也)	229
第1節 調査の内容	229
第2節 遺構と遺物	230
(1) 概要	230
(2) 古代	230
第3節 小結	238
第10章 第9地点の調査(山本哲也)	239
第1節 調査の内容	239
第2節 遺構と遺物	242
(1) 古代末～中世	242
(2) 近世・近代	307
第3節 小結	312
第11章 第10地点の調査(五十川雄也)	313
第1節 調査の内容	313
第2節 遺構と遺物	313
(1) 概要	313
(2) 縄文時代	313
(3) 弥生時代	314
(4) 中世	316
第3節 小結	318
第12章 第11地点の調査(山本哲也)	319
第1節 調査の内容	319
第2節 遺構と遺物	319
(1) 中世	319
第3節 小結	321
第13章 第12地点の調査(山本哲也・永松正大)	323
第1節 調査の内容	323
第2節 遺構と遺物	324
(1) 古代・中世	324
第3節 小結	334
第14章 第13地点の調査(山本哲也・永松正大)	335
第1節 調査の内容	335
第2節 遺構と遺物	336
(1) 中世	336
第3節 小結	347
第15章 試掘調査の結果(五十川雄也)	349
第1節 概要	349
第16章 考察(五十川雄也・山本哲也・山下朋紀)	369
第17章 丹川地区の村落遺跡調査と丹生荘の歴史(別府大学 飯沼賢司教授)	405
第18章 大分市丹川地区における圃場整備事業の展開と地域社会(別府大学 中山昭則教授)	435
第19章 自然科学調査(パリノ・サーヴェイ株式会社)	447
—遺物観察表—	471
—写真図版—	561

挿図目次

第1図	経営体育成基盤整備(丹川地区)対象地(1/25000).....	3	第86図	SA001遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	70	第171図	SK1847遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	138
第2図	遺跡位置図.....	4	第87図	SA002遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	70	第172図	SK2188遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	138
第3図	丹生地質図(1/35000).....	6	第88図	SA003遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	71	第173図	中世pit出土遺物実測図①(1/3・1/2).....	140
第4図	発掘調査跡の遺跡と古墳、石造物など位置図(1/35000).....	7	第89図	SD861、901、1033、1034遺構実測図(1/80).....	72	第174図	中世pit出土遺物実測図②(1/3).....	141
第5図	調査区配置図(1/5000).....	8・9	第90図	SD861、901、1034出土遺物実測図(1/3).....	72	第175図	中世pit出土遺物実測図③(1/3).....	142
第6図	第1地点遺構配置図(1/250).....	11	第91図	SD2200遺構実測図(1/80).....	73	第176図	中世pit出土遺物実測図④(1/3・1/2).....	143
第7図	SD15遺構実測図(1/100).....	12	第92図	SD2200出土遺物実測図①(1/3).....	74	第177図	中世造成土出土遺物実測図①(1/3).....	144
第8図	SD15出土遺物実測図(1/4).....	13	第93図	SD2200出土遺物実測図②(1/3).....	75	第178図	中世造成土出土遺物実測図②(1/3).....	145
第9図	自然流路出土遺物実測図(1/4・1/2).....	14	第94図	SK060・270遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	76	第179図	SB053遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	146
第10図	SK10遺構実測図(1/15)及び出土遺物実測図(1/4).....	15	第95図	SK1029遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3).....	77	第180図	SD1095・1096遺構・出土遺物実測図(1/150・1/40・1/3).....	147
第11図	その他の遺構出土遺物実測図(1/4).....	15	第96図	SK1695遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3・1/6).....	78	第181図	SD1096出土遺物実測図(1/3・1/2).....	148
第12図	包含層出土遺物実測図(1/4).....	16	第97図	SK2425遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	79	第182図	SX1-a出土遺物実測図①(1/3・1/2).....	149
第13図	第2地点遺構配置図(1/100).....	17	第98図	その他柱穴出土遺物実測図①(1/3).....	83	第183図	その他柱穴出土遺物実測図(1/3).....	150
第14図	SK015遺構・遺物実測図(1/30・1/3).....	18	第99図	その他柱穴出土遺物実測図②(1/3).....	84	第184図	表土遺物実測図①(1/3).....	151
第15図	SB001遺構実測図(1/80).....	19	第100図	その他柱穴出土遺物実測図③(1/3).....	85	第185図	表土遺物実測図②(1/3・1/2).....	152
第16図	SB002遺構実測図(1/80).....	19	第101図	その他柱穴出土遺物実測図④(1/3).....	86	第186図	表土遺物実測図③(1/2).....	153
第17図	SD011遺構・遺物実測図(1/80・1/3).....	20	第102図	その他柱穴出土遺物実測図⑤(1/3).....	87	第187図	第5地点(NSJ-5)遺構配置図(1/100).....	155
第18図	包含層遺物実測図(1/3).....	20	第103図	その他柱穴出土遺物実測図⑥(1/3).....	88	第188図	SB001遺構実測図(1/80)・出土遺物実測図(1/3).....	156
第19図	遺構配置図(1/150).....	21	第104図	その他柱穴出土遺物実測図⑦(1/3).....	89	第189図	SB002遺構実測図(1/80).....	156
第20図	縄文時代包含層平面図・土層図(1/150・1/80).....	22	第105図	その他柱穴出土遺物実測図⑧(1/3).....	90	第180図	SB003遺構実測図(1/80).....	156
第21図	基本層序(1/80).....	23	第106図	第4地点中世遺構配置図①(1/200).....	92	第191図	SB004遺構実測図(1/80).....	156
第22図	壁からの出土遺物(1/3).....	23	第107図	第4地点中世遺構配置図②(1/200).....	92	第192図	SB005遺構実測図(1/80)・出土遺物実測図(1/3).....	157
第23図	縄文時代包含層出土遺物(1/3).....	23	第108図	第4地点中世遺構配置図③(1/200).....	93	第193図	第6地点V区全体図(1/3).....	157
第24図	SK001遺構実測図(1/40).....	24	第109図	第4地点中世遺構配置図④(1/200).....	94	第194図	第6地点遺構配置図(1/600).....	160
第25図	SK001出土遺物実測図(1/4).....	24	第110図	SB024遺構実測図(1/80).....	95	第195図	第6地点I区全体図(1/200).....	161
第26図	SK002遺構実測図(1/40).....	24	第111図	SB025遺構実測図(1/80).....	95	第196図	第6地点II区全体図(1/200).....	162
第27図	SK002出土遺物実測図(1/6).....	24	第112図	SB026遺構実測図(1/80).....	96	第197図	第6地点III区全体図(1/200).....	163
第28図	SB001遺構・遺物実測図(1/80・1/3).....	25	第113図	SB026出土遺物実測図(1/3).....	97	第198図	第6地点IV区全体図(1/200).....	164
第29図	SB002遺構・遺物実測図(1/80・1/3).....	26	第114図	SB027遺構実測図(1/80).....	97	第199図	第6地点V区全体図(1/200).....	165
第30図	SB003遺構・遺物実測図(1/80・1/3).....	27	第115図	SB028遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	98	第200図	第6地点掘立柱建物配置図(1/600).....	166
第31図	SB004遺構実測図(1/80).....	27	第116図	SB029遺構実測図(1/80).....	98	第201図	SB001遺構実測図(1/80).....	167
第32図	SA001遺構実測図(1/80).....	28	第117図	SB030遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	99	第202図	SB001出土遺物実測図(1/3).....	167
第33図	SA002遺構実測図(1/80).....	28	第118図	SB031遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	100	第203図	SB002遺構実測図(1/80).....	167
第34図	SA003遺構実測図(1/80).....	28	第119図	SB032遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	101	第204図	SB003遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	167
第35図	その他の柱穴出土遺物実測図(1/3).....	28	第120図	SB033遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	102	第205図	SB004遺構実測図(1/80).....	168
第36図	SK004遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	29	第121図	SB034遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	103	第206図	SB005遺構実測図(1/80).....	168
第37図	SK140遺構実測図(1/40).....	30	第122図	SB035遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	104	第207図	SB006遺構実測図(1/80).....	168
第38図	SX001集石実測図(1/80).....	30	第123図	SB036遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	104	第208図	SB006出土遺物実測図(1/3).....	168
第39図	中世造成土(S100)出土遺物実測図①(1/3).....	30	第124図	SB037遺構実測図(1/80).....	105	第209図	SB007遺構実測図(1/80).....	169
第40図	中世造成土(S100)出土遺物実測図②(1/3).....	31	第125図	SB038遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	105	第210図	SB008遺構実測図(1/80).....	169
第41図	中世造成土(S100)出土遺物実測図③(1/3).....	32	第126図	SB039遺構実測図(1/80).....	106	第211図	SB009遺構実測図(1/80).....	169
第42図	近世遺構出土遺物(1/3).....	32	第127図	SB040遺構実測図(1/80).....	107	第212図	SA001遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	170
第43図	第4地点周(NSJ-4)辺図(1/2500).....	33	第128図	SB041遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	108	第213図	SA002遺構実測図(1/80).....	170
第44図	第4地点遺構配置図(1/600)と基本層序(1/60).....	34	第129図	SB042遺構実測図(1/80).....	109	第214図	その他ピット出土遺物実測図(1/3).....	171
第45図	第4地点古墳～古代遺構配置図①(1/200).....	35	第130図	SB043遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	110	第215図	第6地点溝・道路状遺構配置図(1/800).....	172
第46図	第4地点古墳～古代遺構配置図②(1/200).....	36	第131図	SB044遺構実測図(1/80).....	111	第216図	SD001遺構実測図(1/100・1/80).....	173
第47図	第4地点古墳～古代遺構配置図③(1/200).....	37	第132図	SB045遺構実測図(1/80).....	112	第217図	SD001(上・中層)出土遺物実測図(1/3).....	173
第48図	第4地点古墳～古代遺構配置図④(1/200).....	38	第133図	SB046遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	112	第218図	SD001(下層)出土遺物実測図(1/3).....	174
第49図	SP2519遺構実測図(1/20).....	39	第134図	SB047遺構実測図(1/80).....	113	第219図	SD500遺構実測図(1/80・1/60・1/40).....	175
第50図	SP2519出土遺物実測図(1/3).....	39	第135図	SB048遺構実測図(1/80).....	114	第220図	SD500出土遺物実測図①(1/3・1/4).....	176
第51図	SK006遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3).....	40	第136図	SB049遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	115	第221図	SD500出土遺物実測図②(1/2・1/3・1/4).....	177
第52図	SH690遺構・出土遺物実測図(1/60・1/3).....	40	第137図	SB050遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	115	第222図	SD555遺構実測図(1/150・1/40).....	178
第53図	SH1035遺構実測図(1/60).....	41	第138図	SB051遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	116	第223図	SD555出土遺物実測図(1/2・1/3).....	179
第54図	SP1032遺構実測図(1/20).....	41	第139図	SB052遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	117	第224図	SD875遺構実測図(1/40).....	179
第55図	SH1035出土遺物実測図(1/3).....	41	第140図	SA004遺構実測図(1/80).....	118	第225図	SF1000遺構実測図(1/80).....	180
第56図	SB001遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3・1/2).....	42	第141図	SA005遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	118	第226図	第6地点土坑・井戸・竪穴・性格不明遺構配置図(1/800).....	181
第57図	SB002遺構実測図(1/80).....	43	第142図	SA006遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	119	第227図	SK010遺構実測図(1/20).....	181
第58図	SB003遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	44	第143図	SA007遺構実測図(1/80).....	119	第228図	SK010出土遺物実測図(1/3).....	182
第59図	SB004遺構実測図(1/80).....	45	第144図	SA008遺構実測図(1/80).....	119	第229図	SK035遺構実測図(1/30).....	182
第60図	SB004ほか出土遺物実測図(1/3).....	46	第145図	SA009遺構実測図(1/80).....	120	第230図	SK035出土遺物実測図(1/2・1/3).....	183
第61図	SB005遺構実測図(1/80).....	47	第146図	SA009出土遺物実測図(1/3).....	120	第231図	SK013遺構・出土遺物実測図(1/30・1/2・1/3).....	184
第62図	SB005ほか出土遺物実測図(1/3).....	48	第147図	SD1575遺構実測図(1/80).....	121	第232図	SK015遺構実測図(1/30).....	184
第63図	SB006遺構実測図(1/80).....	49	第148図	SD2587・580・587遺構実測図(1/80).....	121	第233図	SK015出土遺物実測図(1/3).....	185
第64図	SB006ほか出土遺物実測図(切合遺構含)(1/3).....	50	第149図	SD2300遺構実測図(1/80).....	121	第234図	SK029遺構・出土遺物実測図(1/3・1/3).....	186
第65図	SB007遺構実測図(1/80).....	51	第150図	SK004遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	122	第235図	SK030遺構実測図(1/30).....	186
第66図	SB007出土遺物実測図(1/3・1/2).....	52	第151図	SK005遺構実測図(1/30).....	123	第236図	SK505遺構・出土遺物実測図(1/60・1/3・1/4).....	187
第67図	SB008遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	53	第152図	SK005出土遺物実測図(1/3).....	123	第237図	SK540遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	187
第68図	SB009遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	54	第153図	SK400遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	123	第238図	SK510遺構実測図(1/20).....	188
第69図	SB010遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	55	第154図	SK500遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	124	第239図	SK510出土遺物実測図①(1/3).....	189
第70図	SB011遺構実測図(1/80).....	56	第155図	SK600遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	124	第240図	SK510出土遺物実測図②(1/3).....	190
第71図	SB011ほか出土遺物実測図(1/3).....	57	第156図	SK700遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	125	第241図	SK510出土遺物実測図③(1/3).....	191
第72図	SB012遺構実測図(1/80).....	58	第157図	SK715遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	125	第242図	SK510出土遺物実測図④(1/3).....	192
第73図	SB012ほか出土遺物実測図(1/3).....	59	第158図	SK1265遺構実測図(1/20).....	126	第243図	SK510出土遺物実測図⑤(1/3).....	193
第74図	SB013遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	60	第159図	SK1265出土遺物実測図①(1/3).....	127	第244図	SK510出土遺物実測図⑥(1/3).....	194
第75図	SB014遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	61	第160図	SK1265出土遺物実測図②(1/3).....	128	第245図	SK510出土遺物実測図⑦(1/3).....	195
第76図	SB015遺構実測図(1/80).....	62	第161図	SK1265出土遺物実測図③(1/3).....	129	第246図	SK510出土遺物実測図⑧(1/3).....	196
第77図	SB015出土遺物実測図(1/3・1/2).....	63	第162図	SK1265出土遺物実測図④(1/3).....	130	第247図	SK510出土遺物実測図⑨(1/3).....	197
第78図	SB016遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	64	第163図	SK1265出土遺物実測図⑤(1/3).....	131	第248図	SK510出土遺物実測図⑩(1/3).....	198
第79図	SB017遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	65	第164図	銭貨実測図①(1/1).....	133	第249図	SK510出土遺物実測図⑪(1/3).....	199
第80図	SB018遺構実測図(1/80).....	66	第165図	銭貨実測図②(1/1).....	134	第250図	SK510出土遺物実測図⑫(1/3).....	200
第81図	SB019遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	66	第166図	銭貨実測図③(1/1).....	135	第251図	SK515遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3).....	201
第82図	SB020遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	67	第167図	銭貨実測図④(1/1).....	136	第252図	SK520遺構実測図(1/20).....	202
第83図	SB021遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	68	第168図	SK1385遺構実測図(1/30).....	137	第253図	SK520出土遺物実測図(1/3).....	202
第84図	SB022遺構実測図(1/80).....	68	第169図	SK1385出土遺物実測図(1/3).....	137	第254図	SK525遺構実測図(1/20).....	203
第85図	SB023遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	69	第170図	SK1550遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	137	第255図	SK525出土遺物実測図(1/8).....	204

第256図	SK707遺構実測図(1/20).....	204	第341図	SP400遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	259	第426図	SB001遺構実測図(1/80).....	336
第257図	SK707出土遺物実測図(1/3).....	204	第342図	SP410出土遺物実測図(1/3).....	259	第427図	SB002遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	337
第258図	SE580遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	205	第343図	ビット出土遺物実測図(1/3).....	260	第428図	SB003遺構実測図(1/80).....	337
第259図	包含層出土遺物実測図(1/3).....	206	第344図	SD030遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3).....	261	第429図	SB004遺構実測図(1/80).....	338
第260図	第6地点周辺確認調査遺構全体図(1/600).....	207	第345図	SD070遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3).....	262	第430図	SB005遺構実測図(1/80).....	338
第261図	Ⅷ区遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	208	第346図	古代・中世土坑・井戸配置図(1/300).....	263	第431図	SB006遺構実測図(1/80).....	339
第262図	T106・SK001遺構・出土遺物実測図(1/3).....	209	第347図	SK040遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3).....	264	第432図	SB007遺構実測図(1/80).....	339
第263図	T111・SE001遺構実測図(1/30).....	210	第348図	SK045遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3).....	265	第433図	SA001～SA007遺構実測図(1/80).....	341
第264図	T111出土遺物実測図(1/4).....	211	第349図	SK055遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3).....	266	第434図	ビット出土遺物実測図(1/3・1/4).....	341
第265図	第7地点遺構配置図(1/300).....	213	第350図	SK065遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3).....	267	第435図	SD010遺構実測図(1/250・1/60).....	342
第266図	主要遺構全体図(1/200).....	214	第351図	SK085遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	268	第436図	SD010出土遺物実測図(1/3).....	343
第267図	南壁土層図(1/100).....	214	第352図	SK086遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	268	第437図	SK001・026遺構実測図(1/60).....	343
第268図	SB002遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	215	第353図	SK089遺構・出土遺物実測図(1/30).....	269	第438図	SK002遺構・出土遺物実測図(1/60・1/3).....	343
第269図	SB003遺構実測図(1/80).....	215	第354図	SK094遺構実測図(1/30).....	269	第439図	SK005遺構実測図(1/40).....	344
第270図	SB004遺構・出土遺物実測図(1/80・1/4).....	216	第355図	SK096遺構実測図(1/30).....	270	第440図	SK005上層出土遺物実測図(1/3).....	345
第271図	SB005遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	216	第356図	SK100遺構・出土遺物実測図(1/60・1/3).....	271	第441図	SK005下層出土遺物実測図(1/3).....	345
第272図	SA001遺構・出土遺物実測図(1/80)・1/4).....	217	第357図	SK105遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	271	第442図	SK020遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3).....	346
第273図	SA002遺構実測図(1/80).....	217	第358図	SK110遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3・1/4).....	272	第443図	SK024遺構実測図(1/60).....	346
第274図	SX001石敷検出・周辺遺構(1/60).....	218	第359図	SK111遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	273	第444図	SK024出土遺物実測図(1/3).....	347
第275図	SX001土層断面実測図(1/60).....	218	第360図	SK115遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	274	第445図	SX003・019出土遺物実測図(1/3).....	347
第276図	SX001断面見通し図(1/60).....	219	第361図	SK120遺構実測図(1/40).....	275	第446図	遺跡全体図及び現況周辺図(1/1000).....	348
第277図	SX001上層出土遺物実測図(1/3・1/4).....	220	第362図	SK120出土遺物実測図(1/3).....	276	第447図	T91遺構実測図(1/40).....	349
第278図	SX001下層出土遺物実測図(1/3・1/4).....	221	第363図	SK121遺構実測図(1/30).....	277	第448図	トレンチ配置図.....	350
第279図	SB001・SX001石敷下遺構実測図(1/80).....	221	第364図	SK125遺構実測図(1/40).....	278	第449図	延命寺地区周辺トレンチ状況.....	351
第280図	SB001出土遺物実測図(1/6).....	221	第365図	SK125出土遺物実測図①(1/3).....	280	第450図	野間地区周辺トレンチ状況.....	352
第281図	SX001石敷下出土遺物実測図(1/3).....	222	第366図	SK125出土遺物実測図②(1/3).....	281	第451図	T90出土遺物実測図(1/3).....	353
第282図	SX005遺構実測図(1/60).....	222	第367図	SK135遺構・出土遺物実測図①(1/30・1/3).....	282	第452図	T91遺構実測図(1/40).....	354
第283図	SX005出土遺物実測図(1/3).....	223	第368図	SK135出土遺物実測図②(1/3).....	283	第453図	T91出土遺物実測図(1/3).....	354
第284図	SK010出土遺物実測図(1/3).....	223	第369図	SK140遺構実測図(1/20).....	285	第454図	T172遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3).....	355
第285図	SD020遺構実測図(1/60・1/40).....	224	第370図	SK140出土遺物実測図①(1/3).....	285	第455図	185トレンチ実測図(1/40).....	355
第286図	SD020出土遺物実測図(1/3・1/4).....	225	第371図	SK140出土遺物実測図②(1/3).....	287	第456図	T185出土遺物実測図①(1/3).....	356
第287図	SP025・SP035遺構実測図(1/60).....	225	第372図	SK140出土遺物実測図③(1/3).....	288	第457図	T185出土遺物実測図②(1/3).....	357
第288図	SP035出土遺物実測図(1/6).....	225	第373図	SK140下層出土遺物実測図(1/3).....	290	第458図	その他のトレンチ出土遺物実測図①(1/3).....	358
第289図	その他の遺構出土遺物実測図①(1/3・1/4).....	226	第374図	SK145遺構実測図(1/40).....	291	第459図	その他のトレンチ出土遺物実測図②(1/3).....	359
第290図	その他の遺構出土遺物実測図②(1/3).....	227	第375図	SK145出土遺物実測図①(1/3).....	292	第460図	その他のトレンチ出土遺物実測図③(1/3).....	360
第291図	壁土出土分布図(1/200).....	228	第376図	SK145出土遺物実測図②(1/3).....	293	第461図	その他のトレンチ出土遺物実測図④(1/3).....	361
第292図	第8地点遺構配置図(1/150).....	229	第377図	SK145出土遺物実測図③(1/3).....	294	第462図	その他のトレンチ出土遺物実測図⑤(1/3).....	362
第293図	基本層序模式図.....	230	第378図	SK150遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	294	第463図	その他のトレンチ出土遺物実測図⑥(1/3).....	363
第294図	SB001掘立柱建物跡遺構実測図(1/80).....	230	第379図	SK155遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3).....	295	第464図	その他のトレンチ出土遺物実測図⑦(1/3).....	364
第295図	SB001出土遺物実測図(1/3).....	230	第380図	SE015遺構実測図(1/40).....	296	第465図	その他のトレンチ出土遺物実測図⑧(1/3).....	365
第296図	SB002遺構実測図(1/80).....	231	第381図	SE015出土遺物実測図①(1/3).....	297	第466図	その他のトレンチ出土遺物実測図⑨(1/3).....	366
第297図	SB003遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	231	第382図	SE015出土遺物実測図②(1/3・1/4).....	298	第467図	その他のトレンチ出土遺物実測図⑩(1/3).....	367
第298図	SB004遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	232	第383図	SE080遺構実測図(1/60).....	298	第468図	縄文—古代の土器①(1/6・1/8).....	370
第299図	SB005遺構実測図(1/80).....	233	第384図	SE080出土遺物実測図①(1/3).....	299	第469図	縄文—古代の土器②(1/6・1/8).....	371
第300図	SB006遺構実測図(1/80).....	233	第385図	SE080出土遺物実測図②(1/3・1/4).....	300	第470図	縄文—古代の土器③(1/6・1/8).....	373
第301図	その他のビット出土遺物実測図(1/3).....	233	第386図	SE080出土遺物実測図③(1/3).....	301	第471図	縄文—古代の土器④(1/6・1/8).....	374
第302図	SD020遺構実測図(1/80).....	233	第387図	SE080出土遺物実測図④(1/3).....	302	第472図	縄文—古代の土器⑤(1/6・1/8).....	376
第303図	SD020出土遺物実測図(1/3).....	234	第388図	包含層位置図(1/400).....	303	第473図	縄文—古代の土器⑥(1/6・1/8).....	377
第304図	SK030遺構実測図(1/80).....	234	第389図	SX130出土遺物実測図①(1/3).....	304	第474図	縄文—古代の土器⑦(1/6・1/8).....	378
第305図	SK040遺構実測図(1/80).....	234	第390図	SX130出土遺物実測図②(1/3).....	305	第475図	丹生川流域・中世土器編年図①(1/6).....	381
第306図	SK030出土遺物実測図(1/3) 1335・1338(1/4).....	235	第391図	SX165出土遺物実測図(1/3).....	306	第476図	丹生川流域・中世土器編年図②(1/6).....	382
第307図	包含層出土遺物実測図①(1/3).....	236	第392図	SX170出土遺物実測図(1/3).....	306	第477図	丹生川流域・中世土器編年図③(1/6).....	383
第308図	包含層出土遺物実測図②(1/3).....	237	第393図	近世・近代遺構配置図(1/300).....	307	第478図	古園石仏前庭部出土瓦葺(1/3).....	387
第309図	第9地点遺構配置図(1/300).....	239	第394図	表土剥ぎ・遺構検出出土遺物実測図(1/3).....	311	第479図	豊後府内出土師質土器.....	388
第310図	第9地点遺構完掘図①(1/200).....	240	第395図	第10地点遺構配置図(1/150).....	313	第480図	第4地点古代建物跡変遷図.....	391
第311図	第9地点遺構完掘図②(1/200).....	241	第396図	SK011遺構実測図(1/20)・出土遺物実測図(1/4).....	314	第481図	第7・8地点古代建物跡変遷図.....	392
第312図	SB001遺構実測図(1/80).....	243	第397図	SH001遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	314	第482図	第4地点中世建物跡変遷図.....	393
第313図	SB002遺構実測図(1/80).....	243	第398図	SH002遺構実測図(1/80).....	315	第483図	中世出土銭貨フローチャート.....	395
第314図	SB003遺構実測図(1/80).....	244	第399図	SH003遺構実測図(1/80).....	315	第484図	荒田遺跡SX072.....	396
第315図	SB004遺構実測図(1/80).....	245	第400図	SH004遺構実測図(1/80).....	315	第485図	中世大友府内町跡第5次B区.....	396
第316図	SB005遺構実測図(1/80).....	245	第401図	SH005遺構実測図(1/80).....	316	第486図	染井遺跡出土土書土器.....	397
第317図	SB006遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	246	第402図	SH006遺構実測図(1/80).....	316	第487図	中世大友府内町跡第5次B区.....	397
第318図	SB007遺構実測図(1/80).....	246	第403図	SH007遺構実測図(1/80).....	316	第488図	大分平野の埋襲遺構.....	399
第319図	SB008遺構実測図(1/80).....	246	第404図	ST012遺構実測図(1/20).....	317	第489図	第7地点石敷遺構と立地.....	400
第320図	SB009遺構・出土遺物実測図(1/100・1/3).....	247	第405図	ST012出土遺物実測図(1/2).....	317	第490図	NSJ4・6・9・10地点出土中世墓.....	402
第321図	SB010遺構実測図(1/100).....	247	第406図	その他の遺構出土遺物実測図(1/3).....	318	第491図	第6地点SK510と大友館跡出土かわらけ大量廃棄土坑.....	403
第322図	SB011遺構実測図(1/80).....	248	第407図	第11地点遺構配置図(1/150)・土層模式図.....	320			
第323図	SB012遺構実測図(1/80・1/4).....	248	第408図	掘立柱建物跡実測図(1/60).....	321			
第324図	SB013遺構実測図(1/80).....	249	第409図	ビット出土遺物実測図(1/3).....	322			
第325図	SB014遺構実測図(1/80).....	249	第410図	第12地点遺構配置図(1/200).....	323			
第326図	SB015遺構実測図(1/80).....	250	第411図	調査区中央ベルト・北東隅土層断面図(1/80).....	323			
第327図	SB016遺構実測図(1/80).....	250	第412図	SB001遺構実測図(1/80).....	324			
第328図	SB017遺構実測図(1/80).....	250	第413図	SK001遺構実測図(1/30).....	325			
第329図	SB018遺構実測図(1/80).....	251	第414図	SK001出土遺物実測図(1/3).....	325			
第330図	SB019遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	251	第415図	集石1遺構実測図(1/40).....	326			
第331図	SB020遺構実測図(1/80).....	252	第416図	集石2遺構実測図(1/40).....	326			
第332図	SB020・SB021出土遺物実測図(1/3).....	252	第417図	集石3遺構実測図(1/40).....	327			
第333図	SB021遺構実測図(1/80).....	252	第418図	集石4遺構実測図(1/40).....	327			
第334図	SB022遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3).....	253	第419図	SX001出土遺物実測図(1/3).....	328			
第335図	SB023遺構実測図(1/80).....	254	第420図	SX004・002出土遺物実測図(1/3).....	329			
第336図	SB024遺構実測図(1/80).....	254	第421図	SX002出土遺物実測図(1/3).....	330			
第337図	SB025遺構実測図(1/80).....	255	第422図	SX003出土遺物実測図①(1/3).....	331			
第338図	SB026遺構実測図(1/80).....	255	第423図	SX003出土遺物実測図②(1/6).....	332			
第339図	柵跡実測図①(1/80).....	257	第424図	SX003出土遺物実測図③(1/6).....	333			
第340図	柵跡実測図②(1/80).....	258	第425図	第13地点調査区全体図(1/300)・基本層序図.....	335			

目次

表1	銭貨観察表.....	132
表2	近世・近代遺構観察表①.....	308
表3	近世・近代遺構観察表②.....	309

※第18章・19章の表番号は除く

第1章 はじめに

第1節 調査の経緯

(1) 調査に至る経緯

平成16年度に大分市耕地林業課から大分市教育委員会へ大分市丹川地区の遺跡の照会があった。開発は経営体育成基盤整備事業で、対象面積が40haを越えることと、周知遺跡である丹生川坂ノ市条里跡や丹生遺跡群に含まれることがわかり、平成15年度末から平成17年度にかけて試掘調査を実施した。その結果、遺跡は広範囲に広がっていることがわかり、大分市耕地林業課、大分県中部振興局と協議を重ねた結果、遺跡の大部分は現状保存をすることになったが、一部を発掘調査による記録保存をすることとなった。本調査は平成16年度～平成19年度まで実施され、全13地点に及んだ。平成16年7月13日付け大分局耕第489号文化財保護法第57条の3(丹生遺跡群)と平成16年7月13日付け大分局第489号同法第57条の3(丹生川坂ノ市条里跡)の届出が大分県大分地方振興局から大分市教育委員会へ提出され、平成17年3月18日付け同法第58条2の提出により、第1～3地点の本調査を実施した。平成17年度は丹生川坂ノ市条里跡を平成17年10月14日付け同法第99条第1項の届出により第4～6・8地点、丹生遺跡群を平成17年18年1月11日付け同法第99条第1項の届出により第7地点の本調査を行った。平成18年度は平成18年8月22日付け同法第99条第1項の届出により、第9・10地点の本調査を行った。平成19年度は丹生川坂ノ市条里跡を平成19年11月2日付け同法第99条第1項の届出により第11・13地点の本調査、丹生遺跡群を平成19年11月2日付け同法第1項の届出により、第12地点の本調査を実施した。

(2) 調査の経過

本発掘調査は、平成16～平成19年の4年間実施した。調査地点は周知遺跡からすると2遺跡にまたがるが、同事業の開発であるため、調査地点は通し番で示している。以下、地点と調査期間を記す。

丹生川坂ノ市条里跡 (第1地点)	平成17年1月21日～平成17年2月28日
丹生川坂ノ市条里跡 (第2地点)	平成17年1月21日～平成17年2月28日
丹生川坂ノ市条里跡 (第3地点)	平成17年2月28日～平成17年3月25日
丹生川坂ノ市条里跡 (第4地点)	平成17年4月11日～平成17年9月30日
丹生川坂ノ市条里跡 (第5地点)	平成17年4月15日～平成17年4月22日
丹生川坂ノ市条里跡 (第6地点)	平成17年10月6日～平成17年12月28日
丹生遺跡群 (第7地点)	平成18年1月10日～平成18年3月15日
丹生川坂ノ市条里跡 (第8地点)	平成18年1月12日～平成18年3月8日
丹生川坂ノ市条里跡 (第9地点)	平成18年4月24日～平成18年9月29日
丹生川坂ノ市条里跡 (第10地点)	平成18年8月28日～平成18年9月29日
丹生川坂ノ市条里跡 (第11地点)	平成19年7月2日～平成19年7月16日
丹生遺跡群 (第12地点)	平成19年12月4日～平成20年1月30日
丹生川坂ノ市条里跡 (第13地点)	平成19年11月2日～平成20年1月30日

(3) 調査の体制

経営体育成基盤整備事業(丹川地区)の本調査は平成16年度から20年度まで実施された。当該事業は開発面積が広いことから効率的な調査と開発が求められていたため、平成16年度に別府大学文化財研究所(所長 飯沼賢司教授)に歴史地理的観点から水掛りや地名などを中心とした丹生丹川地区の景観調査の委託を行い、試掘成果と併せて、効率的な事業進捗にあたった。また本調査の成果を景観調査に取りいれるため、調査指導者として別府大学飯沼賢司教授に依頼している。

以下、発掘調査事務局の調査体制以下のとおりである。

発掘調査及び整理作業体制（平成16年度～平成20年度）

調査主体： 大分市教育委員会

調査指導： 別府大学教授

調査総括： 教育長

教育総務部次長兼文化財課長

文化財課長

参事

(文化財係)

課長補佐兼文化財係長

係長

専門員

調査担当

飯沼 賢司

秦 政博(～18年度) 足立 一馬(19年度～)

玉永 光洋(20年度)

帯刀 修一(16年度) 足立 昌人(17年度) 佐藤 功 (18年度)

玉永 光洋(19年度)

玉永 光洋(～18年度) 渋谷 建治(19年度) 岩田 祐治(20年度)

讃岐 和夫(～17年度)

塔鼻 光司(20年度)

塔鼻 光司(18・19年度)

塔鼻 光司(～17年度) 坪根 伸也 池邊千太郎(19年度～)

(主任)

永松 正大(第11～13地点)

(主事)

五十川 雄也(第1～10地点)

(囑託)

山本 哲也(第6～13地点) 羽田野裕之(第1～3地点)

苅谷 史穂(第4～8地点)

このほか以下の職員の協力を得た

河野史郎 高畠 豊 塩地潤一 佐藤道文 古川 匠

長 直信 仲矢咲紀 姫野久恵 松田幸之助 岩尾美保子

(大分市耕地林業課)

農政部次長兼耕地林業課長

課長

耕地第2係

庶務係

(整理作業員)

17年度 藤原 彰子

18年度 沢田 香織 安部 真弓 平田ちはる 松木 晴美

19年度 平田ちはる 松木 晴美 安部 真弓 岩田 和子

20年度 永井 勝代 首藤久美子(～7月) 小島 愛(8月～)

(発掘作業員)(16～18年度)

佐々木百合子 指原 敦 達田忠雄 池永富治 宮崎純子

富来直洋 富来保治 池永忠夫 坂本清 指原洋嗣

指原徳市 秦忠次 安達重子 安部昭子 安達廣子

神田ムツ子 工藤政子 小西達彦 富永妙子 佐々木盛子

後藤トシ子 富永妙子 別宮けい子 御手洗幸子 佐藤幸一

荻田正明 後藤周一 成瀬弘子 渡邊孝雄 三島栄治

薬師寺眞佐代 渡辺津代子 瀧田東 法花津勲

早崎昭太郎 朝倉兼記 (以上 順不同)

(来跡者)

小野正敏 市毛 勲 田中裕介 苅谷俊介 小柳和宏

坂本嘉弘 綿貫俊一 土居和幸 後藤一重 高橋 徹

神田高士 小林昭彦 (以上順不同)



第1図 経営体育成基盤整備(丹川地区)対象地(1/25000)

第2節 遺跡の立地と環境

(1) 地理的環境

丹生川坂ノ市条里跡・丹生遺跡群は大分平野を北流する大野川と九六位山系に挟まれた丹生川中上流域沿いに位置している。四国南部から佐賀関半島から坂ノ市南部を経て上戸次一帯につづく地域は、結晶片岩と呼ばれる変成岩からなる佐賀関変成岩類が分布し、九六位山系などは佐賀関変成岩類により形成されている。

丹生台地は地質学的には第4期更新世の大在層と城原層の堆積層から形成され、大在層は丹生台地の標高50～90mの間に分布し、礫層・砂質泥層からなり、海棲貝化石を産出する。城原層は丹生台地東側の標高40～50mの平坦面を形成する。結晶片岩を主体とする礫層(下部)と海棲貝化石を含む泥層(上部)から成る。丹生台地の大在・城原層以外の段丘礫層は各河川により堆積した層であり、沖積世に入ると各河川の氾濫源などで堆積層ができたり、縄文時代には海面上昇により、現在の平地の奥地まで海水が入り、砂・泥が堆積した。

丹生台地と九六位山系の間には九六位山系から広内、赤迫池を通過している丹生川が北流し、矮小な沖積平野を形成している。丹生川は丹生台地からの谷水、九六位山系側からは樅ノ木山山系から4つの支流が合流している。

沖積平野では、古代・中世の条里が施行され、水田が営まれ、その景観は過去の風景を現在に投影したようなものである。現在でも低地では水田耕作が行われており、特に水田下に堆積している厚い粘土質層は米作には適しており、「丹生米」として親しまれている。丹生台地上でも水田、畑作、家畜などが行われている。昭和35年前後から丹生台地上では、開墾や宅地造成に伴って、土地造成が大部分で行われ、この時に破壊された遺跡も多いと考えられる。

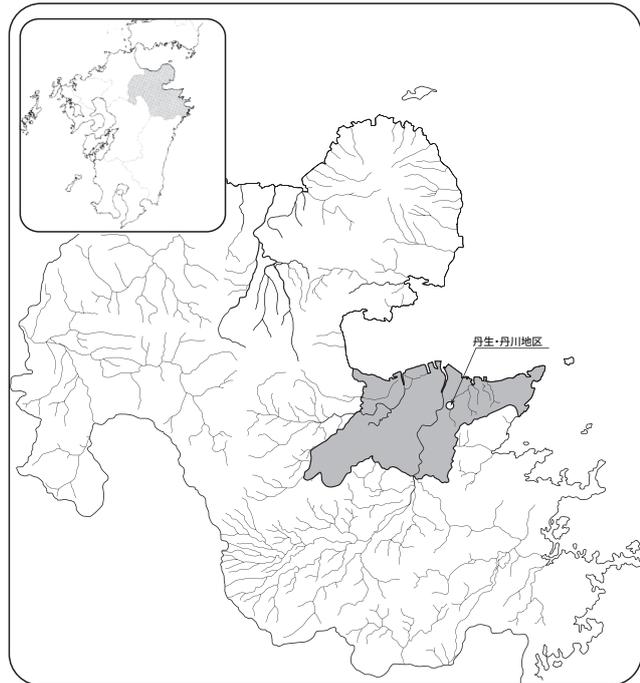
(2) 歴史的環境

丹生川坂ノ市条里跡・丹生遺跡群は大分市大字丹生・丹川に立地する。『豊後国風土記』によると「海部郡郷肆所里十二 駅一所 烽二所・・・丹生郷在郡西 昔時之人 取此山沙 該獲朱沙 因曰丹生郷、・・・」とあり、「丹生」の地名は古代までは遡ることができ、丹(朱)を産出していることに由来している。

ところで丹生台地は以前、前期旧石器時代存否論争にも該当する地域であり、考古学史にも名を残す地域であり、昭和37年～同42年まで古代学協会による発掘調査が実施された(古代学協会1968)。現在では、前期旧石器時代は問題を残しているが、後期旧石器時代としては、良好な遺跡である。今回の発掘調査では旧石器時代の遺物は発見されていない。

縄文時代は、これまでの調査としては、丹生遺跡群長迫地点において(大分市教委2002)、縄文時代早期と推定される礫器が、岡遺跡群の内無川4地区において、縄文時代早期の集石炉跡が確認できている。また今回の調査では、試掘調査において縄文時代後期の包含層、第3・10地点において縄文時代晩期末～弥生時代早期の埋嚢が発見された。

弥生時代は、昭和36年に「丹生川」遺跡として、大分大学調査団が発掘調査し(大分大学1962)、弥生時代の水田に伴う矢板や木製農耕具類が多数出土した。調査当時は弥生時代中期頃のの水田跡としていたが、木器類の中にナスビ形木製品が存在し、ナスビ形木製品は現在の研究によると弥生時代後期後葉から終末を遡らないことか



第2図 遺跡位置図

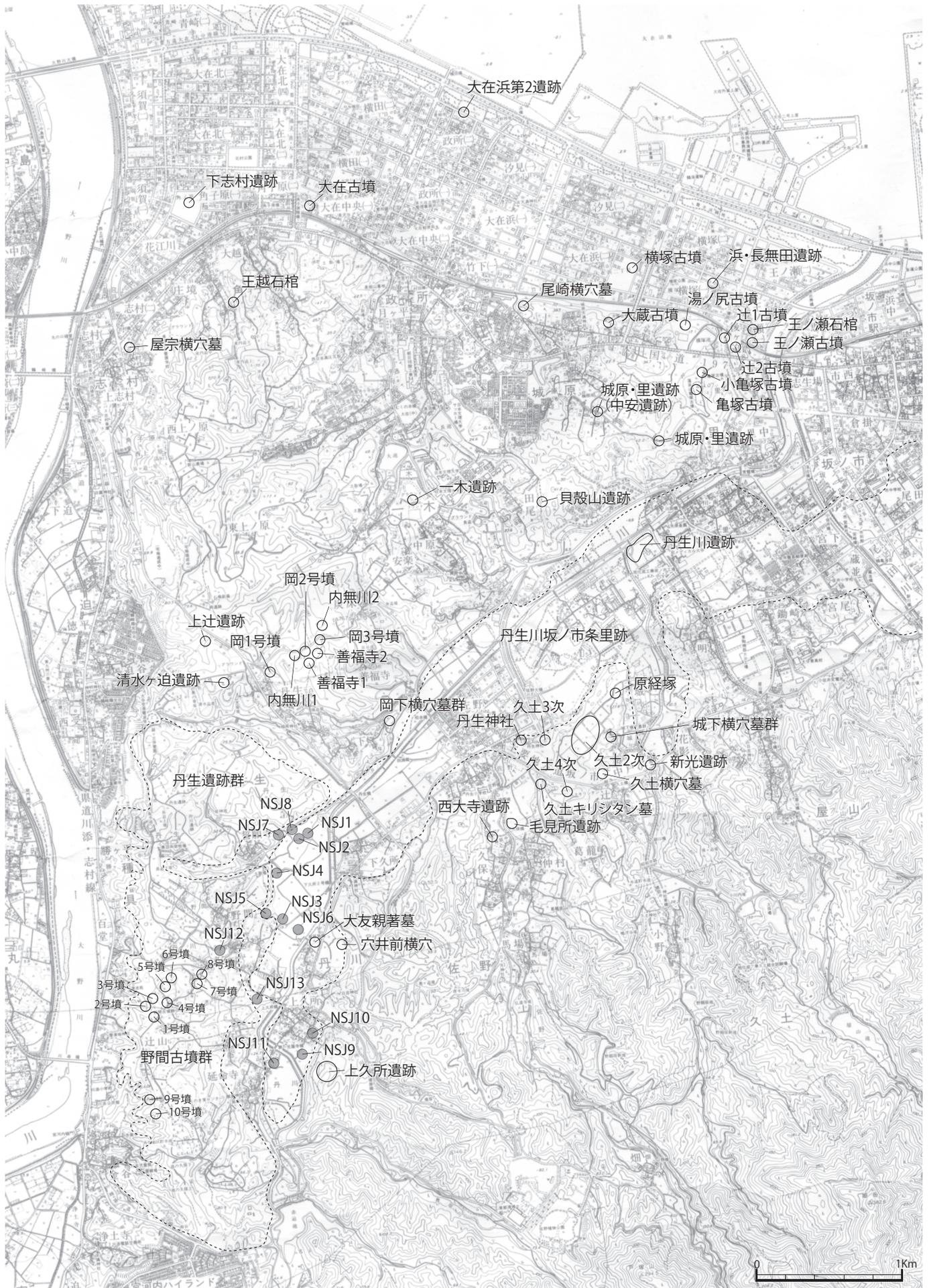
ら、丹生川遺跡の水田跡は弥生時代終末～古墳時代初頭くらいに位置付けられる。ただ近接する一本経塚原で、中期の円形竪穴住居跡3基が調査されている。貝殻山遺跡(大分市教委2005)では、弥生時代中期の溜め井状遺構が検出されている。岡遺跡群・上辻遺跡(大分県埋文セ2007)では、弥生時代の後期を主体とする円形と方形の竪穴住居跡が合計で40基以上が確認されており、小児用甕棺墓や土坑(木棺の可能性含む)墓が10基ほど確認されている。また上辻遺跡のすぐ南に位置する清水迫遺跡では平形銅剣なども見つかった。岡・一木の丹生台地上には弥生時代中期～後期にかけての集落が展開しており、低地では水田耕作を営んでいたであろう。今回の調査でも第10地点で、中期の円形竪穴住居跡が5基ほど、また第1地点では、後期～終末にかけての水田に伴うであろう祭祀行為が確認できる溝跡なども発見されており、弥生時代の丹生川中・上流域の低地は生産遺跡、周辺の台地上には集落が営まれていたと推定される。

古墳時代は、丹生台地の北東部に位置する県下最大級の亀塚古墳を筆頭に、丹生川流域沿いの丹生台地上には大小の古墳が多く築かれた。野間地区にある野間古墳群は10基を数え、前方後円墳、円墳が展開する。昭和40年に発掘調査が行われている。1号墳からは壺型埴輪、3号墳は石釧・変形渦状文鏡・管玉・鉄鏃、10号墳は神人獣形鏡・勾玉・蕨手刀子等が出土している。野間古墳群は、出土遺物や主体部に結晶片岩製箱式石棺が使用されていることから、5世紀の範疇で考えてよいと思われるが、石釧が出土した3号墳は4世紀代まで遡る可能性を残す。一方、岡遺跡群では岡1号墳(円墳)と2号墳(円墳)の調査が行われ、1号墳の主体部は凝灰岩製箱式石棺で、2号墳は結晶片岩製箱式石棺であることから、野間古墳群の造営時期とほぼ同時くらいの造営であろう。

丹生台地上には古墳が多く築かれているが、丹生川を挟んで東側の丘陵下には横穴墓が展開しており、丹生川を挟んで東西で墓地形態が相違しているのは特徴的である。集落跡は、古墳の総数に対して少数である。中安遺跡第2・3次調査(大分市教委2005)において、6世紀代の住居跡、今回調査の第4地点において、4世紀代の竪穴建物跡1基と丹の貯蔵穴跡が1基確認できている。西王寺遺跡(大分県教委2002)では竪穴建物跡が5基ほど(時期不明含む)が確認されている。久土遺跡(大分市教委1990)では、6世紀の竪穴建物跡が確認できている。現段階では古墳時代集落跡の調査はわずかであるが、丹生川中上流域では低地に展開し、丹生川下流域では台地上にも展開していることがわかる。ただ、調査数が少ないことから、これからの調査により、丹生川流域の古墳時代集落と墓地の関連が課題となろう。

飛鳥・奈良・平安時代は丹生台地北東部の城原において、海部郡衙跡である城原・里遺跡第3～4次調査(中安遺跡)が確認され、7世紀後半～8世紀後半の間に3期の変遷が認められる。また海部郡衙跡から東方400mほどの箇所に城原・里遺跡第1・2、5～9次調査地点がある。ここでは、海部郡衙跡よりも1段階古い規格性をもった掘立柱建物跡群や竪穴建物跡が展開する。推定ではあるが、海部群衙前身の海部評衙跡と考えられているところである。また低地の丹生川流域にも古代の掘立柱建物跡などの遺構は丹生川が形成した矮小な沖積平野にも多く展開していることがわかっている。特に丹生川から別府湾に注ぐ坂ノ市地域は、古代の坂門津と推定され、拠点的な港があった可能性が高い。この丹生川流域の低地には多くの遺跡が展開している。前田遺跡(大分市教委1990)は、8～9世紀にかけての掘立柱建物跡(倉庫含む)や須恵器・土師器などの遺物もまとまって出土している。丹生川坂ノ市条里跡(里・川田遺跡)(大分市教委1998)では、円面硯片や焼塩用製塩土器が出土。新光遺跡(大分県教委1990)では、隅丸方形の柱穴を持つ掘立柱建物跡が1棟検出されており、今回の調査では、第4・8・12地点でも方形掘方の柱穴を持つ掘立柱建物跡が展開し、集石跡も見つかった。また第7地点では溝と掘立柱建物跡の内部に石を敷いている遺構が検出されている。一方で、丹生台地上では岡遺跡群内無川3・4地区(大分県埋文セ2007)において、平安時代後期の炭窯跡が検出されている。このように丹生川流域沿いの低地にも掘立柱建物跡が広範囲にわたって展開していることがわかっており、公的施設である可能性が高い。特に今回調査した丹生川上流域に展開する古代遺構は、前述したように豊後国風土記において「丹生郷 郡西在・・・」とあることから、ここでいう郡を海部郡衙とするのであれば、ちょうど今回の調査地点は城原・里遺跡から西にあたり、丹生郷の公的施設が展開する地域にあたるのではないかと推定される。

中世は丹生川中・上流域は丹生庄にあたる。丹生庄は前身は丹生郷であり、1つの見解(大分市1987)によると、



第4図 発掘調査済の遺跡と古墳、石造物など位置図(1/35000)



第 5 図 調査区配置図 (1/5000)



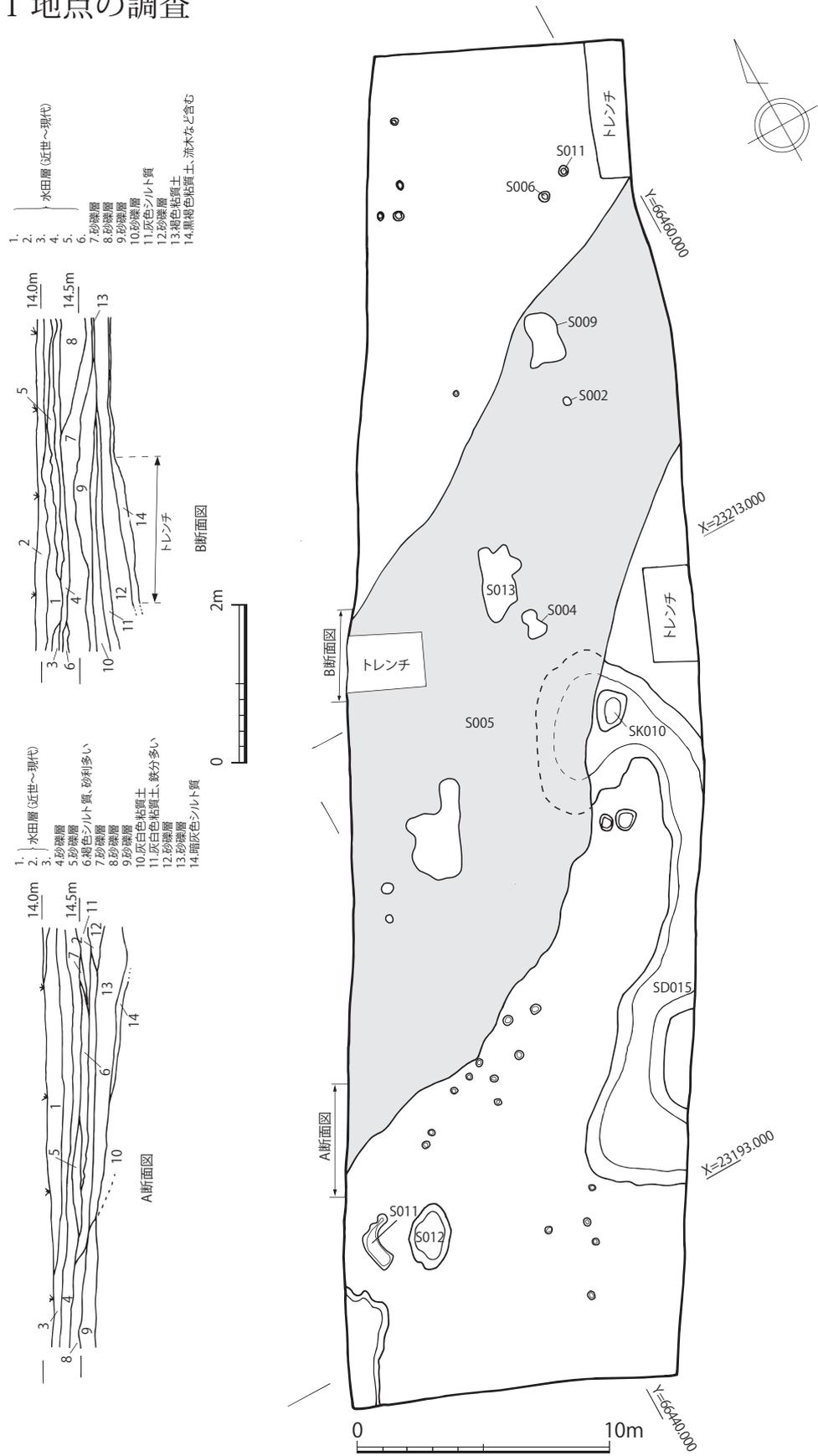
豊後国守護職を務めた大友氏11代大友親著の墓が存在し、さらに第6地点で、約500枚かわらけの一括廃棄土坑が検出され、儀式・儀礼に用いられたものと考えられる。さらに、親著公の戒名にある「大恵寺」が丹川地区に字名として存在している。したがって、大友親著と丹川との関連が深いことが想定される。その後、15世紀～16世紀にかけて、大友氏の加判衆にも拔擢された齋藤氏が丹生庄を治めることとなる。今回の調査に伴って行ったもう一つの調査に、中世荘園集落遺跡調査(別府大学に委託)があり、丹生庄の中世の景観復元に大きな成果を上げており(別章参照)、さらに中山昭則氏は現在の圃場整備事業が地域社会へ与える影響を、過去の事例を踏まえて検証し、課題を提起されていることは、これまでにない視点であり、意義深いと思われる。

以上のように旧石器時代～中世において、これまでの発掘調査の成果を概観したが、近世・近代も含めて、丹生川流域の低地や丹生台地上において、人々の生活跡は断絶することなく、現代にまで至っている。また丹生川中上流域沿いでの大規模な発掘調査は今回が初めてであり、この地域には欠くことのできない資料が多く出土した。

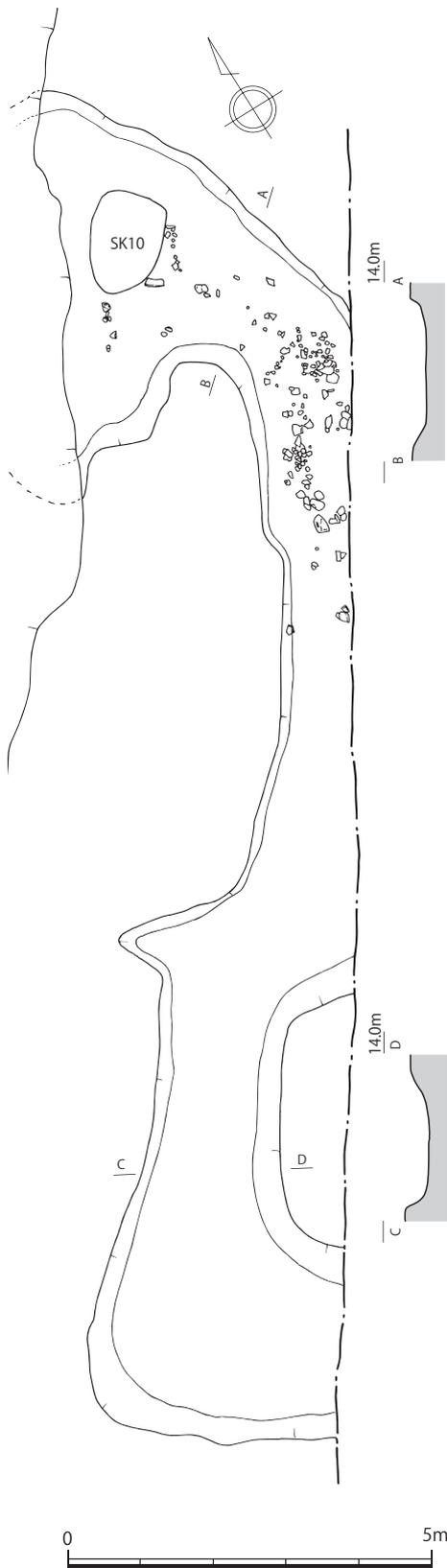
参考文献

- 大分県教育委員会2002『西王寺遺跡 毛見所遺跡 上久所遺跡 浄土寺遺跡』
大分市教育委員会2005『海部の遺跡1』
大分市教育委員会1990『大分市埋蔵文化財年報1』
大分市教育委員会2002『大分市埋蔵文化財年報13』
大分市教育委員会1998『大分市埋蔵文化財年報9』
大分県埋蔵文化財センター 2007『岡遺跡群 上辻遺跡』
大分県埋蔵文化財センター 2007『岡遺跡群』
平凡社1995『大分県の地名 日本歴史地名体系45』
大分市1987『大分市史 上巻』
大分市1987『大分市史 中巻』
大分市教育委員会2006『大分市市内遺跡確認調査概報』
大分市教育委員会2006『城原・里遺跡』
渡辺澄夫1987『豊後国佐賀郷・丹生荘・白杵荘・佐伯荘・柴山村史料 豊後国荘園公領史料集成6』
古代学協会1968『丹生』
大分県教育委員会1990『新光遺跡』
大分大学学芸学部1962『丹生川』

第2章 第1地点の調査



第6図 第1地点遺構配置図 (1/250)



第7図 SD15遺構実測図 (1/100)

第1節 調査の内容

第1地点は丹生川上流域の西岸にあたり、大字「丹川」字「野間口」、第2地点の東200mに位置する。調査面積は1900㎡である。調査地点は丹生川流域の低地に位置しており、西側と南側に矮小な開析谷があり、そこからの谷水が丹生川に注ぐ。調査では、検出標高14mほどで、地盤は沖積地のため、礫や砂地で安定はしていない。検出遺構・出土遺物は弥生時代後期～終末の溝、自然流路、土坑などが確認できた。基本層序(第6図)は、上層は近世以後～現代の水田層が2～3層確認できる。下層は自然流路による礫や砂の堆積土層主体である。

第2節 遺構と遺物

(1) 概要

第1調査地点の検出遺構は、溝・土坑・ピット・自然流路などで、弥生時代後期～終末の時期である。特に溝と自然流路の関係は合流しており、なおかつ合流地点付近のみで廃棄された土器が多量に出土している。周辺に弥生時代の集落が確認できていないことから、祭祀に用いられた土器を廃棄したものと考えられる。溝は水田に伴う用排水路と考えられる。以下、詳細な説明を行っていく。

(2) 弥生時代

イ. 溝(SD)・自然流路(SR)

溝は1条検出した。

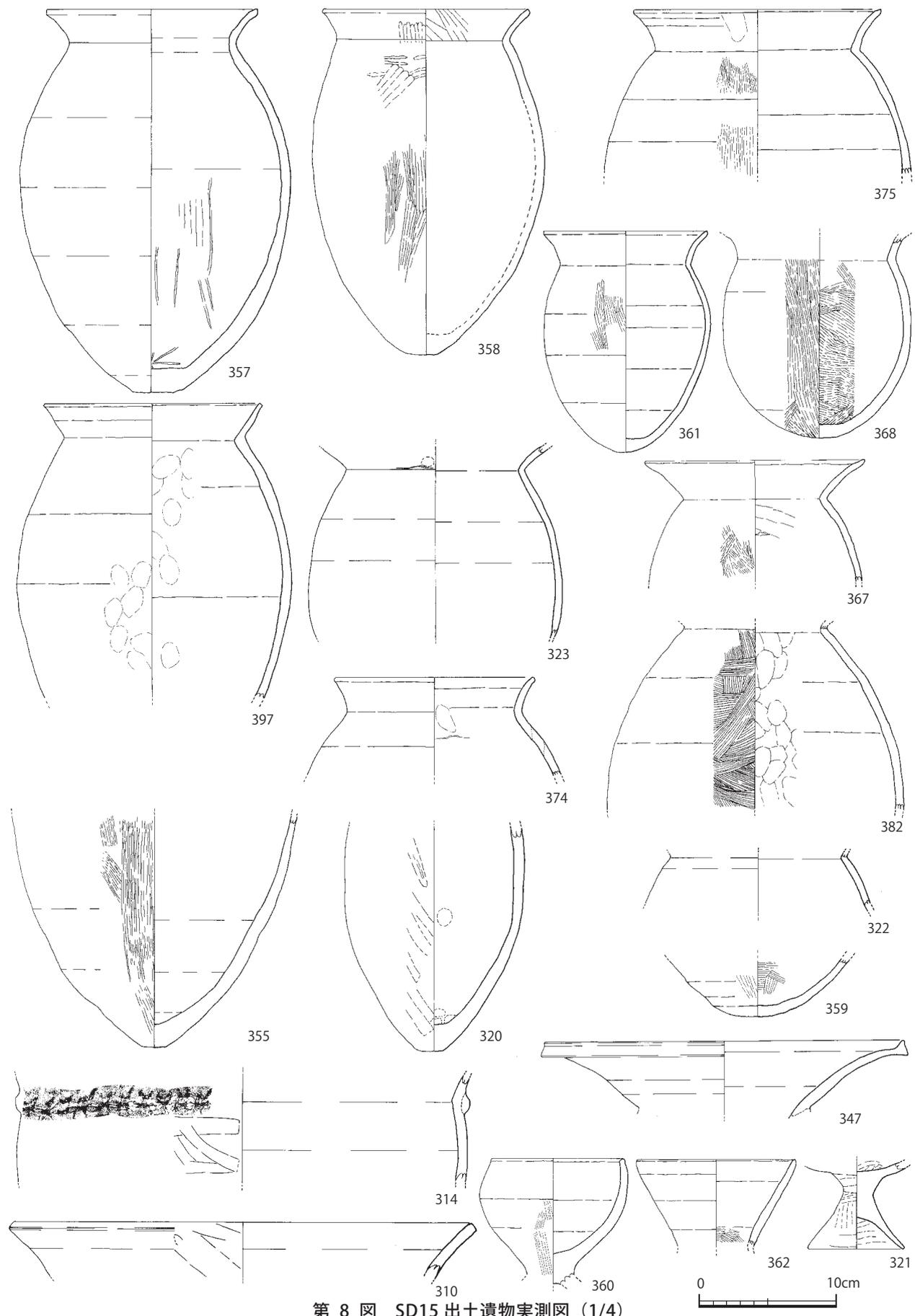
SD15(第7図)

遺構は、調査区南東で、南北に蛇行する状況で検出した。SK10に切れ、自然流路と合流する。全長15 + α m、最大幅は3.5 m、最大深0.4 mを測る。埋土は灰色粘質土主体で、最下層は砂を多く含む。溝の南と北の床面レベル差は北側の方が南側よりも0.2 mほど低い。土層から水流があったと考えられ、床面の高低さから、自然流路に向かって流れていたと推定される。出土遺物(第8図)は弥生土器の甕・(高台付)鉢などである。特に甕は長胴で、外底は若干の平底を残している。347は口縁端部を上方に摘み上げる。314は鉢で頸部に刻み目の突帯を廻す。外面は工具で横方向に器面調整している。

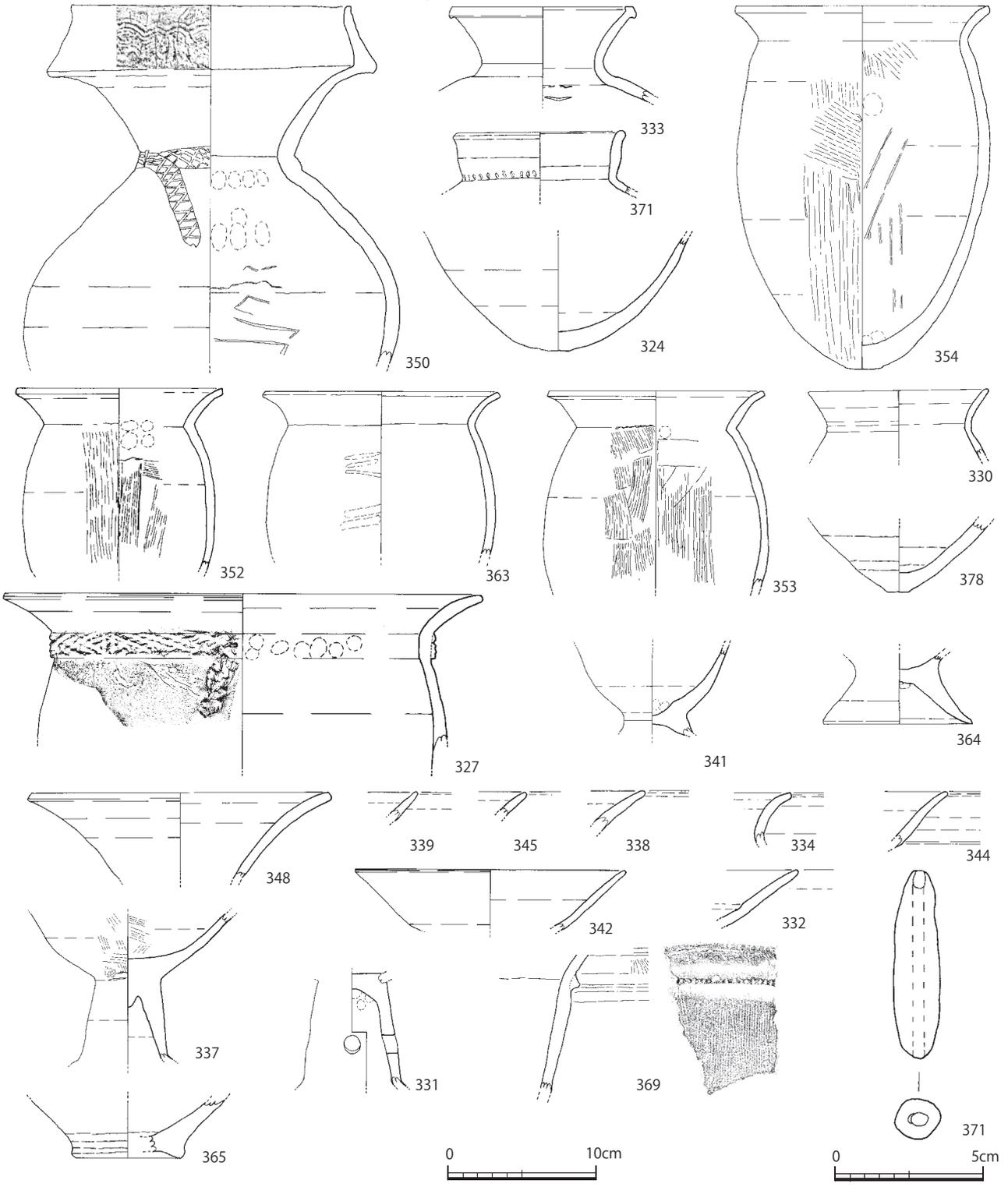
自然流路(SR)(第6図)

自然流路は、調査区全体の地盤や基本層序下層の大半がそうであるが、ここではSD15との関係がわかる自然流路を掲げて報告する。

流路は、調査区中央付近で検出され、東西に延びる。現地形などから考えると西から東へ、丹生川に向かって開析谷か



第 8 図 SD15 出土遺物実測図 (1/4)



第9図 自然流路出土遺物実測図 (1/4・1/2)

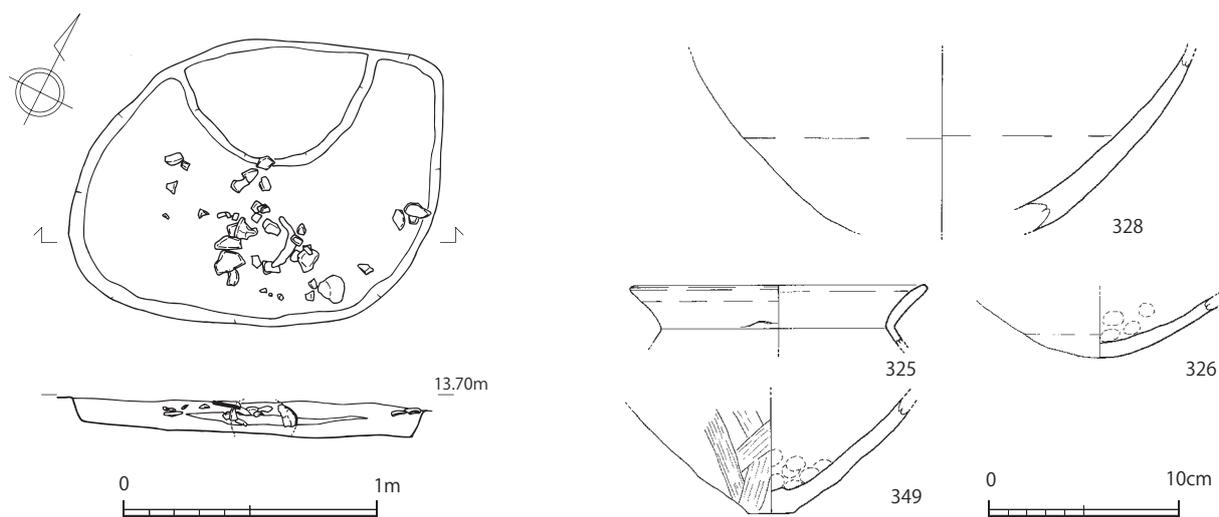
ら流れたものと推定される。全長は $22 + \alpha$ m、最大幅は 12 m、深さは $0.5 + \alpha$ m である。SD15 と合流している。埋土は灰黒色粘砂質土で礫などが混じる。出土遺物 (第9図) は弥生土器の壺・甕・(台付)鉢・高杯、土錘などである。369 は下城式土器甕で、その他は後期～終末主体である。この他、掲載していないが平板の加工木なども出土している。

ロ. 土坑 (SK)

土坑は数基確認できたが、SK10 以外は不定形を呈するものが多く、出土遺物も皆無であるため、ここでは取り上げない。

SK10 (第 10 図)

遺構は調査区中央付近で検出し、SD15 を切る。形状は不定形な楕円状で、北側に一段テラスを設ける。規模は長軸 1.5 m、短軸 1.1 m、最大深 0.15 m を測る。埋土は暗灰色粘質土である。出土遺物 (第 10 図) は、弥生土器で、壺・甕などである。



第 10 図 SK10 遺構実測図 (1/15) 及び出土遺物実測図 (1/4)

その他の遺構・遺物 (第 11 図)

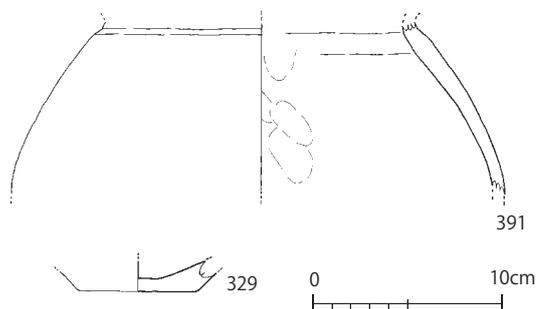
遺構は前述した以外にも検出しているが、ここでは出土遺物のみを取り上げる。391 は S4 からの出土、329 は S2 からの出土である。

包含層出土遺物 (第 12 図)

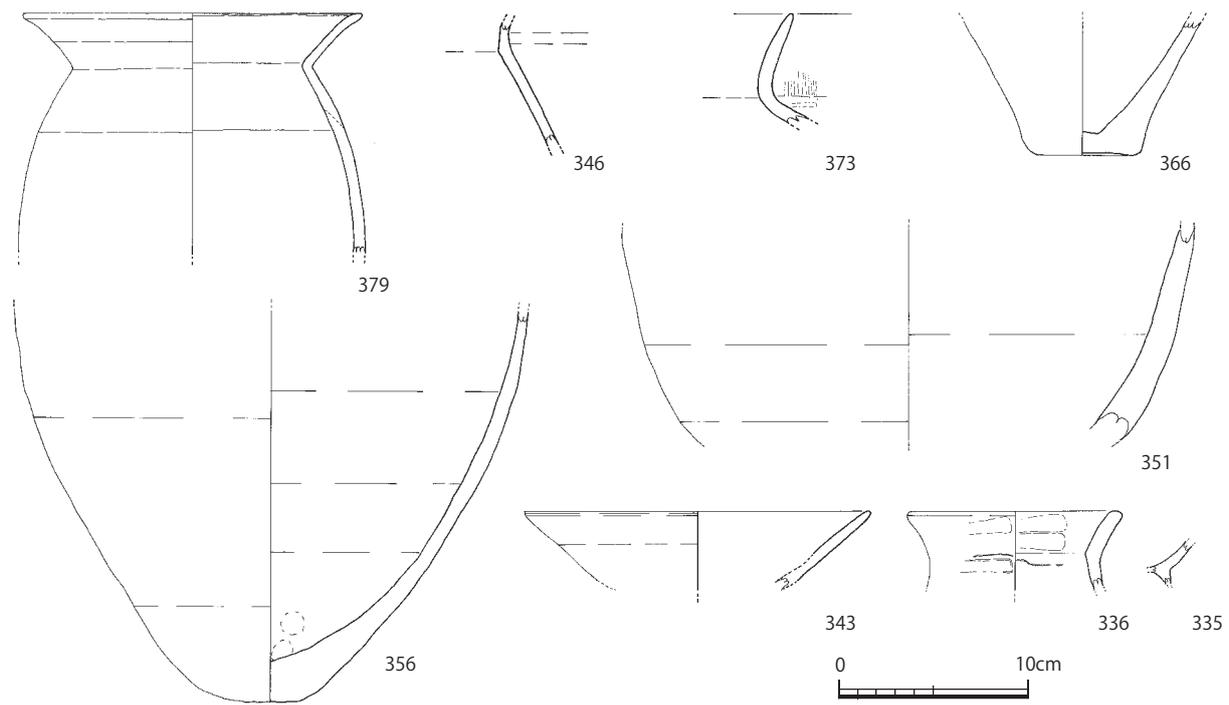
包含層は自然流路堆積土を指し、報告した自然流路以外、特に検出面より上層の出土遺物を報告する。遺物のほとんどは弥生土器の壺・甕・高杯などである。

第 3 節 小 結

第 1 調査地点は、溝・自然流路・土坑などを検出した。出土遺物からすると、弥生時代後期後葉～終末にかけての土器群であり、古墳時代までは下らないと思われる。また SD15 は、自然流路と合流している。SD15 は水流も確認できたため、その周辺の地形の状況から考えて、水田に伴う排水路と考えられる。弥生時代の水田跡は丹生川坂ノ市条里跡では確認できていないが、下流の丹生川遺跡の調査などでは、水田耕作に伴う木製品などが多量に出土している。また SD15 の自然流路との合流地点付近では、土器が多量に廃棄されており、周辺に弥生時代集落がないことと、さらに SD15 の埋没途中で SK10 が掘られてその仲にも大差ない時期の弥生土器が廃棄されていることからすると、SD15 と自然流路の合流地点付近に祭祀などで使用した土器を廃棄したと考えられる。ただ当該期の弥生時代集落は今回の全体の調査では見つかっておらず、丹生台地上に展開している可能性が高い。今後の調査に期待したい。



第 11 図 その他の遺構出土遺物実測図 (1/4)

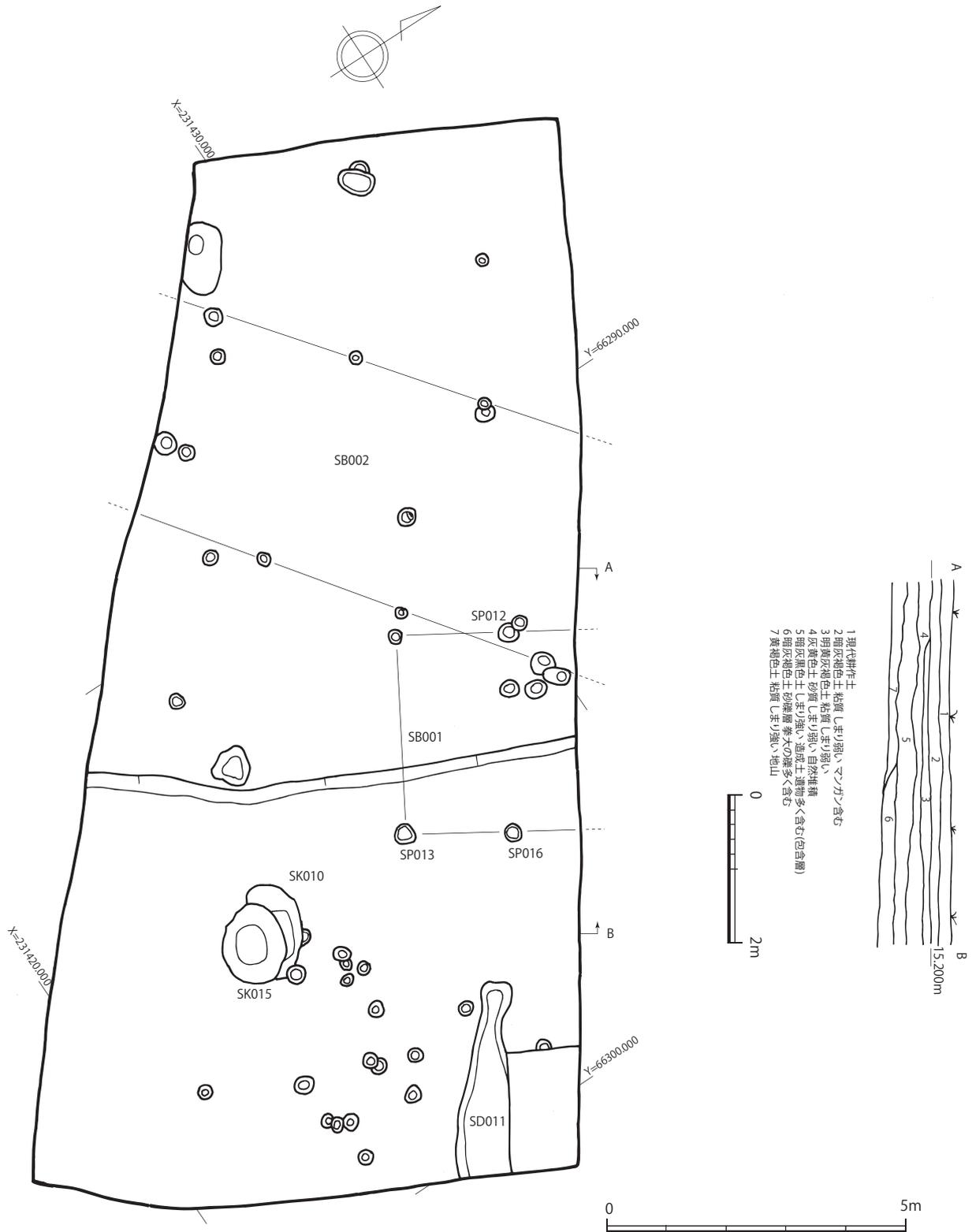


第 12 図 包含層出土遺物実測図 (1/4)



ラジコンヘリによる空中写真風景

第3章 第2地点の調査



第 13 図 第 2 地点遺構配置図 (1/100)

第1節 調査の内容

第2調査地点は、丹生川西岸に位置し、大字「丹川」字「野間口」にあたる。第1調査地点の200m西、第4調査地点の300m東に位置している。調査面積は130㎡である。調査地点の現況は水田である。丹生川の河岸段丘上に位置しているが、遺構の検出標高約15mほどで、検出地盤は砂礫の堆積層である。検出遺構は、土坑・溝・ピット・掘立柱建物跡などである。出土遺物は古代土師器・弥生土器主体である。遺構密度は低い。

第2節 遺構と遺物

(1) 概要

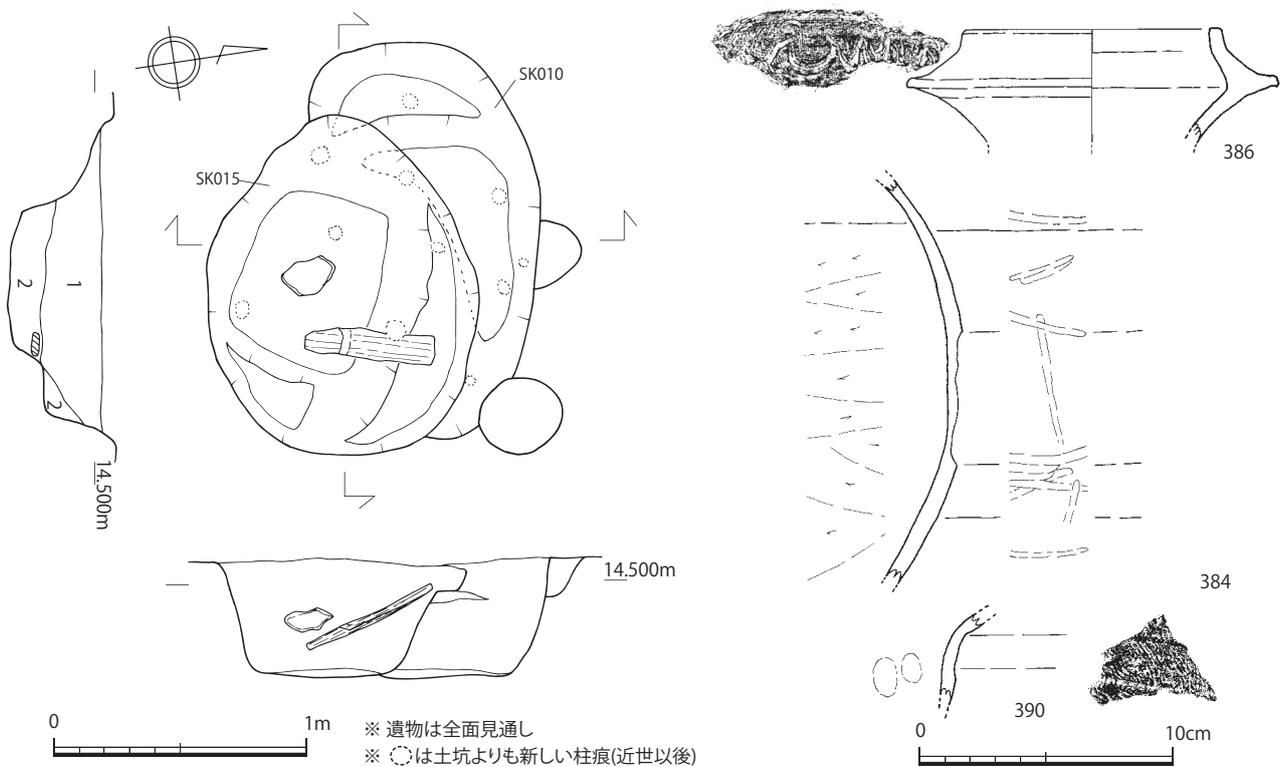
第2調査地点は、弥生時代の土坑2基、古代の溝跡・掘立柱建物跡2棟+ α ・ピット、包含層である。基本層序(第図)は、1～4層は水田層、5層は古代の包含層で、5層除去で、遺構検出面である。5層からは比較的多くの遺物が出土した。

(2) 弥生時代

イ. 土坑(SK)

SK10・15(第14図)

遺構は調査区の東側で検出した。SK15がSK10を切る。またSK10・15には新しい時代の杭10本弱が切る状況で確認できた。SK10の規模は長軸1.6m、短軸0.75+ α m、最大深0.48mを測る。出土遺物は皆無であるが、埋土の関係からSK10と大差ない時期と考えられる。SK15は長軸1.35m、短軸1.1m、最大深0.5mを測る。北側と東側に1段テラスがつく。出土遺物(第14図)は弥生土器と、加工木である。386は複合口縁壺の上部、384は壺・甕の胴部である。内面は横方向のケズリ、外面はナデ後ミガキで調整する。390は頸部周辺の破片で、外面は刷毛状の調整が確認できる。



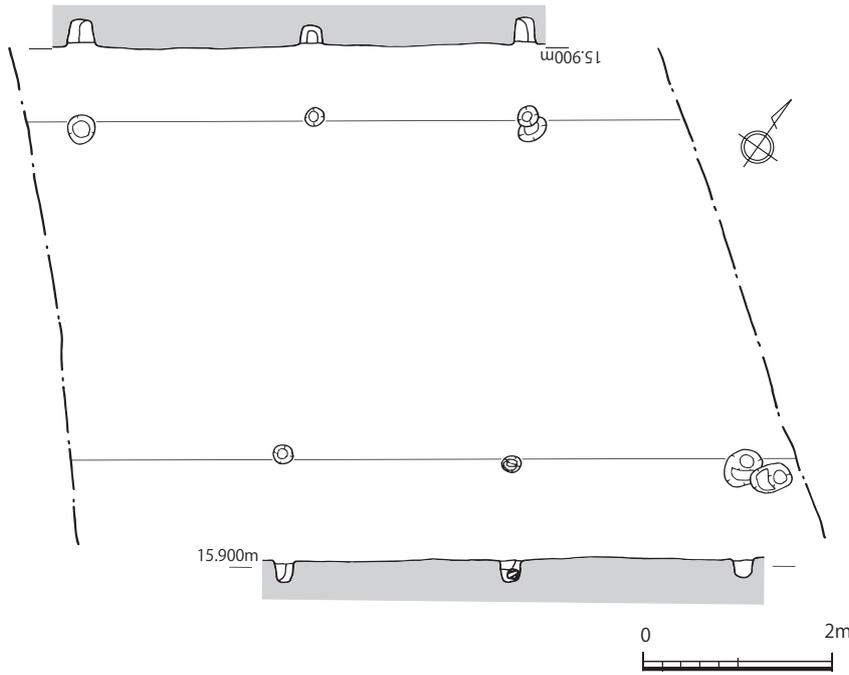
第14図 SK015遺構・遺物実測図(1/30・1/3)

(3) 古代以前

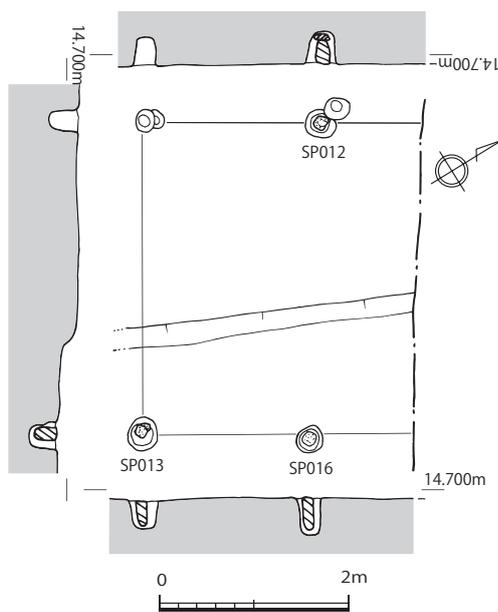
イ. 溝 (SD)

SD11(第17図)

遺構は調査区東側で検出した。遺構の切り合いはないが、遺構の東側を試掘トレンチがかかる。溝跡は南北に延びそうであるが、やや不定形な様相であり、調査区外に延びていくため、形状と規模は明確ではない。検出規模は全長 $3.2 + \alpha$ m、幅 $0.6 + \alpha$ m、最大深 0.2 m を測る。床面はフラットである。埋土は暗褐色粘砂質土である。出土遺物(第17図)は、376は土師器坏、370は高台付鉢か。372は口縁部、383は土師器甕である。



第15図 SB001 遺構実測図 (1/80)



第16図 SB002 遺構実測図 (1/80)

ロ. 掘立柱建物跡 (SB)

SB001(第15図)

遺構は調査区西側で検出した。他のピットとの切り合い関係をもつ。建物跡は調査区外まで延びそうで、全体の規模は不明であるが、建物方位は $N55^\circ E$ 、梁行 $2 + \alpha$ 間×桁行 $1 + \alpha$ 間、身舎面積 $25 + \alpha$ m² である。出土遺物は皆無である。

SB002(第16図)

遺構は調査区中央付近で検出した。他のピットとの切り合い関係をもつ。建物跡は調査区外に延び、全体の規模は不明である。建物方位は $N30^\circ E$ 、梁行 $1 + \alpha$ 間×桁行 $1 + \alpha$ 間、身舎面積 $10 + \alpha$ m² である。出土遺物は皆無であるが、SP12・13・16から柱木の最下部が残存していた。

包含層 (第13・18図)

包含層は調査区全体に及ぶ。土層断面図(第13図)の5層に該当する。遺物(第18図)は古墳～古代を中心に出土しているが、小破片が多量のため、掲載できる土器は少ない。複合口縁壺、鉢、甕、高坏などが出土している。